

里山・広葉樹林再生プロジェクト第6回推進連絡会議概要

1 開催日時及び場所

日時：令和5年10月31日（火）11：30～16：00

場所：（現地調査）福島県二本松市伊佐沼町地内

福島県郡山地区木材木工工業団地協同組合

（推進連絡会議）福島県林業研究センター研修本館

2 出席委員

委員名簿のとおり

3 会議の概要

福島県、森林総合研究所、林野庁より議事の説明を行ったのちに意見交換。主な発言は以下のとおり。

（福島県）

- ・再生プランについては、令和5年10月末時点で3つのモデル地域を含め20市町村において策定済みであり、令和4年度から令和7年度において、再生プランに基づき約900haの原木林を伐採・更新する計画である。
- ・令和4年度の実績は138haとなっており、搬出した材は主にチップとして活用されている。
- ・令和5年度の進捗状況については、10月末時点で約220haの伐採・更新を計画しているところであり、11月から順次伐採を開始する。

（森林総合研究所）

- ・森林内における放射性物質は、90%以上が土壌に留まっており、その割合は数年変化していない。
- ・将来の収穫期におけるきのこ原木の放射性セシウム濃度を予測する手法の開発に取り組んでいる。
- ・今後は他地域のデータを収集し、ぼう芽枝の放射性セシウム濃度のばらつきについて精査していきたい。

（林野庁）

- ・広葉樹材の利用拡大の取組状況については、ほだ木、チップ以外の用途として、集成フリー板、トラック床板の試作品の作成・試験が進められているところ。
- ・今後は円滑に広葉樹材を確保する体制の構築、森林所有者への適切な還元に向けた製品加工の歩留り向上や付加価値のある製品の検討等の課題について、関係者と連携しながら検討していきたい。

（以上）

「里山・広葉樹林再生プロジェクト」第6回推進連絡会議委員名簿

氏名	現職
柳田 範久 <small>やなぎだ のりひさ</small>	福島県農林水産部次長（森林林業担当）【代理が出席】
丹治 俊宏 <small>たんじ としひろ</small>	福島県森林組合連合会代表理事専務
前田 洋 <small>まえだ ひろし</small>	福島県木材協同組合連合会専務理事
安高 志穂 <small>あたか しほ</small>	林野庁森林整備部研究指導課長
塚田 直子 <small>つかだ なおこ</small>	林野庁林政部経営課特用林産対策室長

(敬称略)

【オブザーバー】

氏名	現職
篠宮 佳樹 <small>しのみや よしき</small>	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点長
阪田 匡司 <small>さかた ただし</small>	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点 チーム長（環境影響評価担当）
三浦 覚 <small>みうら さとる</small>	国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 戦略研究部門 震災復興・放射性物質研究拠点 研究専門員

(敬称略)